

## 当院で肝臓のMRI検査を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、肝臓のMRI検査を行った患者さんの画像データ（後述）を用い、将来的に、肝臓（肝腫瘍）の画像診断をより有用なものにすることを目的として、撮像される画像の一部をこれまでよりも短時間で高精度に撮像できるようAI(artificial intelligence：人工知能)を用いて画像を処理する方法の開発研究を行います。データはすべて匿名化され、いわゆる個人情報や個人を特定できるデータが使われることはありません。また、この研究が行われることで、現在治療している患者さんの治療方針が変更されることはありません。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] AIを用いた拡散強調画像ノイズ除去法の臨床検証

[実施期間] 許可日～2025年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 量子医科学研究所およびQST病院

[研究責任者] 立花 泰彦

[研究の目的] 先行研究で開発されたAIを用いた拡散強調画像に対するノイズ除去法を、肝臓領域の画像に合わせて最適化し、その妥当性を臨床データにより評価すること

[研究の対象・情報の収集方法]

### ●対象となる方々

2021年4月以降、当院において脈絡膜悪性黒色腫の診療の一環として、転移性肝腫瘍（肝転移）の有無などを診断するために肝臓MRI検査を行った方の一部（拡散強調画像という撮像法を行った方）

### ●利用する情報及び収集方法

医用画像サーバなどに保存されている画像情報や電子カルテなどに記載された診断情報を収集します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報は、お名前などの個人を直接同定できる個人情報を削除し、匿名化した状態で用います。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い取り扱います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、対象となるMRI検査のうち2021年9月30日までに行われたものについては2021年12月31日まで、2021年10月1日以降に行われる（行われた）ものについては検査後3か月以内に下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この期間を過ぎると個人識別できない情報は取り除けなくなることがあります。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST未来ラボ・量子医療AI研究グループ 立花 泰彦

電話：043-206-3230（平日9:00～17:00）

